

平和・人権  
社会・宗教  
政治と暮らし  
分かち合い

No.49

# 共に生きる

編集／〒806-0049 北九州市八幡西区穴生1-8-10 / 濱下幸弘 FAX093-622-1290

しもつき  
霜月  
**11**  
2014



秋を見つけよう

日本とコリア(朝鮮半島)の友好  
**ニッコリパレード**

笑顔で歩こう

11月23日(日)14時スタート

下関駅そば竹崎公園



ゴジラも怒る!「気持ちわかるな」

イラスト 西山進さん

## 朝日新聞報道 日本軍「慰安婦」問題 本質をすり替える

歴史は書き直せない。友好の道はまず向き合うこと

異常な事態です。朝日新聞が8月5日・6日付で吉田清治氏の証言記事を取り消したことから、まるで「日本軍「慰安婦」問題」がなかつたかのようになります。その動きの一つとして、北九州市議会は「朝日新聞の吉田証言の誤報が発端となり日本批判が高まつた」とし、山口県議会でも「吉田証言を根拠としたクマラスワミ報告が日本人の名誉を損ねた」として日本政府に「適切な処置を講じるよう」にとの意見書を賛成多数で決議したのです。

これに対し、日本軍「慰安婦」問題に精通している様々なグループや政党がそれに抗議、意見書内容の間違いを指摘しています。それは①「河野談話」は吉田証言を採用していないこと。②「慰安婦」裁判においても吉田証言は採用されていないこと。③アメリカ下院決議も同じく吉田証言は採用していないこと。④この問題が世界に広まつたのは、吉田証言報道からではなく、韓国のキム・ハクサンさんが名乗り出たことが発端であることを。などです。「河野談話」以降、500点以上にのぼる資料が発見されおり、市民グループ(日本軍「慰安婦」問題解決のために行動する会北九州)では、事実関係の究明を求める内容の陳情を2010年に北九州市議会に提出したのに、それを否決しておいて今回の決議をしたことは大きな矛盾である、と抗議しています。(10月3日の抗議声明より)

朝日報道を利用し「河野談話」見直しを叫ぶのは、事実を覆い隠し、日本軍「慰安婦」問題の本質をすり替える策動です。これは安倍政権が「河野談話を継承する」と言いながらそれを見直せとせまる意見にすり寄る態度が根っこにあります。一枚舌を使う安倍政権が日本を世界から孤立させていきます。それこそ日本国民の名譽を損ねる行為です。

## 11月のお知らせ

- ◆11月1日(土)反核医師の会(福岡都久志会館)…13時15分
- ◆11月4日(火)社会福音部会(アドラー)…13時30分
- ◆11月9日(日)長崎教会管区セミナー(大名町)…13時  
問い合わせは有吉和子さんへ(マイクロバス有り)
- ◆11月11日(火)原発ゼロをめざす署名行動(JR黒崎駅前)…17時
- ◆11月22日(土)キリスト者9条守りたい(西南KCC)…14時
- ◆11月23日(日)虹の会(黒崎教会-分かち合い)…ミサ後
- ◆11月23日(日)ニッコリしようパレードin下関(竹崎公園)14時
- ◆11月29日(土)9条の会・北九州憲法ネット10周年記念講演  
渡辺治(一橋大学名誉教授)500円 小倉ムーブ 14時
- ◆12月6日(土)下関アムネスティ(下関市民活動センター)…14時

### ときのことば

私は、この憲法の下、われわれ国民が絶えざる努力をつづけるならば、必ずやわが日本は国民の幸福を確保し更に進んで人類の進歩に偉大な貢献をするに至ることを固く信ずる。(吉田首相 1946)

岩田行雄編・著『心躍る平和憲法誕生の時代』より

※資料提供 松浦悟郎司教 2014.10.04

援助修道会 修道院より

## 11月11日:イチイチ祈りの会

場所は修道院聖堂、午後7時から。  
どなたでもお出でください。



カトリック

## 松浦悟郎司教講演 「平和を実現する者」

参加者53名

**2014年7月1日が、記憶しなければならない日となつたことは確かです。**

集団的自衛権を政府の解釈でもって可能にするという信じられないところに踏み切ったのです。これだけ憲法に明確に書かれていることを、逆立ちしてもできないことをやってしまったところに大きな問題があります。

冒頭でこのように松浦司教は述べ、2つの観点から説明しました。

一つは、憲法のありかたを根底から崩してしまったこと。憲法前文と9条は、日本の平和主義を謳っているが、こじつけ的な解釈で変えられるとすれば、どのようなものでも変えられることとなる。憲法をその土台から変えてしまったと言えるほど大変なこと。

二点めは、立憲主義をも壊したこと。権力者を縛るのが憲法。ところが権力者はこれが邪魔になってきたので、憲法を変えようとしたができなかつた。これまで拡大解釈して軍事力を膨らませたが、今回の集団的自衛権は質が全く違うもので、何らかの理由があれば他国でも武力行使ができると解釈でもってやってしまう。アジアの中にも日本を警戒感が出てきた。

このように話したのち、恒久平和や基本的人権は永久権であり不斷の努力で世界の人々の希望となる。現状の縛られた私たちから→私(個)になること。その私から→(平和を願う)わたしたちへつながることが大切だと結びました。(録音あります。)

## 11月定例会のお知らせ



とき/11月22日(土)14時~16時 西南KCC

テーマ/【日本国憲法の平和主義(仮)】

講師/清原雅彦さん(弁護士法人リベラ)



## 日本軍「慰安婦問題」とは何か

山下明子さんがその問題点を語る(12)

2013年11月9日 下関講演

※編集の都合上、講演内容の要点を掲載しています。  
文責/編集部

## 前号のポイント

橋下大阪市長の発言はすぐに世界中に広まった。弁護士である橋下氏の人権感覚が疑われてしまう。また、沖縄米軍の風俗問題と日本軍「慰安婦」問題を関連づけたその無頓着さがあらわに。

橋下氏は女性たちのことを全く考らず兵隊の側から発言し、しかも他の国も同じだと言ったので衝撃だったんです。一つ国の市長がそういう発言をしたので。その上「強制だった」という文書が何もないというのが第一次安倍内閣のときから出ている」と。これはもしそうでなかったのなら政府の責任だと責任転嫁しています。日本政府が毎回勧告を受けてきたのは、公の立場の要人が「慰安婦制度はなかった」と発言したら、政府としてきちんと反駁しないといけないという勧告が毎年きていました。ところがアムネスティインターナショナルや国會議員が橋下発言についてどう思うかを聞くと政府は「橋下

市長の発言について、こちらがその見識を問うものではありません」と。もう一つは国連の社会規約委員会などからの勧告をどうしますかと問うと「法的拘束力はありません。従う義務はありません。」そんな答弁です。新聞で報道されることもあるのですが、自分の国の報告書が、何年か一度の審査をされている最中にそのような発言を平気でします。あれはわざとだと言う人もいますが、それはないでしょう、いくら何でも恥ですから。その後も何度も答弁を繰り返したので、世界中から抗議の文書が届きました。また橋下氏が訪れようとしたサンフランシスコ市議会が発言の撤回を求める決議をしたため、行くことができなくなりました。たまたま私たちも京都市議会に意見書を上げる活動をしていましたので、京都市議会では維新系のひとりを除く全会一致で、橋下市長発言の撤回と謝罪を求める決議をしました。自民党も賛成したんです、自分たちまで同じように思われたら困ると言つことで。「誰でも必要なことはわかる」そんなこと思っていないと。(次号へ)

# ドキュメント映画「標的の村」に取り組んで

## コムシティ・子どもの館で市民221人が鑑賞

「沖縄の人々の本当の苦しみを共有してみませんか」との思いから私は地域で共に活動するみなさんに声をかけました。時を同じく、9月上旬戸畠で試写会が行われ友人3人が参加し火がついたのです。

「話を聞く以上の内容でした。ぜひ上映しよう。」取組を始めてからわずか1ヶ月、果たしてどれほどの方がきてくださるのか全くわかりません。10月18日(土) 1回目の上映が近づいてきました。本当に次から次へと来られ、ほぼ満席になりました。私たちの願いは、ただ「沖縄の人々の本当の苦しみを共有すること」の1点でしたが、私はカトリック正義と平和全国集会でのカンボジアの言葉にも励されました。それは、巨大軍港建設に反対する韓国済州島民の声に

「誰も耳をかさなければ、彼らのすべての思いは歴史の流れの中で忘れ去られ、葬られていくしかない。それで私はこの問題にもっと積極的に参与して世論に訴えはじめました。」と言われたことです。

沖縄の問題と同じだからです。平和な島を取り戻すには、重荷を沖縄の人々にだけ背負わすわけにはいきません。この映画を観た方々が、きっと平和の手紙となり沖縄の実態を告げ知らせてくださっていると思います。これからもいろいろな呼びかけをしていきますのでご参加ください。ありがとうございました。瀬下幸弘

「今日の映画、どうでしたか」と尋ねてみました。どの方も「見て本当に良かった!」「知つていいつもりだったが、沖縄の現実を初めて知った!」と語ってくれました。2回目の映も、多くの方に参加していただきました。



○募金の総額は、10万3282円でした。これほどの浄財を募金箱に入れていただいたこと、この映画のメッセージが皆さんに確実に伝わったことの証だと思います。取り組んだ私たちも大変感激しました。募金の全てを、沖縄革新懇に送ります。(世話人 池村)



分かち合のひととき

## 虹の会

9月28日 18名参加

次回11月23日ミサ後。  
どなたでもご参加ください。

『キリストは「私たちの平和」なのです』 教皇フランシスコ使徒的勧告「福音の喜び」より  
一平和を実現するよう私たちが呼びかけられている第一の場は各々の内面であり生活である一

参加者其々の現実の体験から「キリストの平和」を分かち合いました。「障碍を持った娘さんによって多くの大切なことに気付かされてきました。そのおかげで今の自分があります。」と声を詰まらせて分かち合ってくださった方の

思いが心に響きました。

また、この夏イエズス会司祭主催のカンボジアツアーパートに参加した青年が、その出会いと交わりの体験を分かち合ってくれました。

# 麻薬をめぐる国際戦争

秋吉久紀夫

(4)

日本帝国總理大臣の地位を奪い取るのである。

**四、日本のアヘン謀略作戦その一**

次に世界に名を馳せた日本のアヘン謀略作戦を取りあげねばならない。時期は大正から昭和に入つたばかりの頃、世界的経済恐慌が日本にも襲来し、国内の農村は疲弊困窮し、政党政治は腐敗退廃。その危機を開拓しなければと大日本帝国陸軍は、必ずその矛先を中国大陸の満州進出にさだめた。「満州蒙古はわが大日本帝国の生命線なり」と意図的に唱えられ、一九二八年六月四日、急進派の関東軍高級参謀・河本大作大佐による張作霖爆破事件が引き起こされた。

この爆破事件は、陸軍刑法を犯した重罪行為であったが、軍首脳は統帥大権者である大元帥の天皇の真相究明の意思に背き真相を隠蔽、河本大佐を軍法会議で裁くこともせず、一年後に行政処分によつて停職。二年後に予備役という処分とは言えない軽い措置で事件を隠蔽した。そして事件から二年後の一九三〇年、今

度はロンドン軍縮会議を契機として、かれらは統帥権を独善的に解釈し政権奪取を企てた。結果は未発であつたが、一九三一年の三月一八日の三月事件となり、やがてそれは一九三

年九月一八日発生の柳条湖事件によつて満州事変となり、ついで上海事変へ引火。さらに一九三三年発生の熱河作戦と拡大する。彼らはアヘン謀略によつて得た黒い金で、軍事

謀略にのめり込み日中戦争の原因をつくり、それを拡大膨張させていった。

勿論軍部の中には中国在住のドイツ大使トロウトマンの仲介による和平交渉を成立させたいと願つていたが、和平交渉の打ち切りを頑固に主張する広田弘毅外相、杉山陸相らによつて挫折された。実はこの戦争

しかし満州国はアヘン専売を始めたが実のところ売るアヘンの現品が不足し、官憲に見つかぬようにな津から大連経由でイランから輸入していたのであつた。その後徐々に内蒙ゴや海南島でのアヘン生産が増大し、それによつて巨額の専売収入がもたらされたが。

三年二月八日、満州国執政顧問であり憑かれていた関東軍参謀長東条英二が、陰の世界で実地に活躍していた事件から二年後の一九三〇年、今

のアヘンの闇資金で、敗戦直前の大戦は関東軍司令官・武藤信義大将に

よつて一九三三年二月二三日中旬までに赤峰、承德を攻略し三月二七日に熱河省より河北省北部に退却した中國軍を追撃するとして、武藤軍司令官は長城線以南の河北省東北部である中国本土への侵攻作戦を命じた。この熱河作戦は実は関東軍のアヘン獲得作戦でもあつた。彼らは東北張學良軍の財源である熱河のアヘンを奪い取り、これを満州国の財源にすることをもくろんでいたのである。関東軍が熱河アヘンを天津に密輸出しよとした時、この輸送と密売を委託したのが、阪田誠盛という人物であった。

しかし満州国はアヘン専売を始めたが実のところ売るアヘンの現品が不足し、官憲に見つかぬようにな津から大連経由でイランから輸入していたのであつた。その後徐々に内蒙ゴや海南島でのアヘン生産が増大し、それによつて巨額の専売収入がもたらされたが。

**五、日本のアヘン謀略作戦その二**

ところで、この日本アヘン謀略作戦で、おもてには姿をあらわさないが、陰の世界で実地に活躍していた二人の人物がいた。

(続)

## 靖國神社 豆知識 その9 (Y)

「遊就館」内を見学



遊就館最後の展示場。入口上部に「展示室16 靖國の神々1」とある。部屋の壁には写真がぎっしりと貼られている。横幅18センチ弱、縦23センチほどであろうか、殆どは軍服姿の写真で、その下に名前と階級が記されている。今でもそのようだが、殉職の場合、実階級から1~2階級ほど昇格する。若い兵士の写真が多くあり實に物悲しい。このような写真に囲まれた部屋が他にもあり見物する人たちは無言でじっと写真と向き合っている。神様なのだ。部屋を出るとノートが置いてあり、思いを自由に書けるようだ。「国のために命を捧げられた兵隊さんに・・・」同じような文がいくつもある。これが、遊就館の目的の一つでもあるだろう。展示場からは売店につながっている。自衛隊帽子らしきものや、自衛隊の行事案内、募集の宣伝物がある。おそらく遊就館で学んだ(?)若者は、ごく自然にそれらを手にとるに違いない。しかし若者に告げたい。自衛隊は国民を守るためのもので、戦争に行くためではない。けつして靖國の神となるな。生きよ。

### 憲法9条にノーベル平和賞を(野)

マララさんとサティアルティ氏が受賞しましたね。拍手しました。そしてそして9条にノーベル平和賞の署名総数も10月10日には42万人を超えるました。次は憲法9条を持つ日本国民ですね。100万人署名をめざして2015年、受賞しましょう。



## 《アムネスティ》下関通信(7)



「僕もよく知らないのです」とは、8月の朝日新聞「慰安婦」問題検証記事が購読者数に影響、困惑ぎみの近くの販売店員さんの声です。

9~10月、大阪、北九州、宝塚各市議会と山口と高知の県議会は、主に「慰安婦」問題で日本が国際的不名誉を受けるに至ったのは、朝日新聞の誤報によるもの」とし、政府に「適切な対応を求める意見書」を上程、次々に可決されました。各地市民団体は直ちに抗議声明を発表、私も山口県議会を傍聴しましたが、同日12団体、47名による抗議文が提出されました。骨子は、木を見て森を見



## タイトルを間違った(長さん曰く)

せっかく福岡に来たのだからと、埼玉と大阪の二人を連れ、屋台でもと思ったが、どこもいっぱいなので、激辛ラーメンを食べさせた。その後、焼き鳥屋で話しかんだ。飲むといろんな話が出てくる。しばらくすると、「タイトルを間違った」と長さん。何を突然と思いきや、5月に出版した「奄美でカトリック排撃運動はなぜ起こったのか」のことを言い出した。長さんは、その本の資料を数多く調べ、教授や司教に提供してきた人だ。「軍部はカトリックを排撃すると言うよりも、キリスト教を排撃することをたくさんしていたんです。あの冊子のタイトルは“奄美でキリスト教排撃運動はなぜ起こったのか”とすべきだった。」と。話を少し聞くと確かにそうかもしれないと思ったが、ここは焼き鳥屋。4ヶ月前には戻れない。前向きにいこうと互いに4杯目の焼酎を注文した。もう一人の神父は全く飲めないので最後まで辛抱してつきあってくれた。謝!謝!



## 共に生きる5周年目スタートですね(K)

早いですね。2年前、登場させてもらいましたこの子が、こんなになりました。これからも共に生きるの応援読者でいたいです。

2012年7月 → 2014年9月



## 障子破れてサンがあり(中)

あつと気づいても、あのまつり。ようやくつかまり立ち始めたのはよかったです。手をついたところが障子。感触が良かつたのでしょうか、この日から毎日少しづつビリビリと。里帰り中の出来事なので申し訳なく、弁償のつもりで障子紙だけは買いました。写真のご当人は、振り向くとニコニコ笑顔でした。



ず。一新聞の誤報のみを見て元「慰安婦」救済すべしの圧倒的国際世論や眞実は見ず、県は国が誤った歴史認識に追随している、というものでした。

国際アムネスティは2005年、「元慰安婦」とその支援者たちに連帯する声明を出し、米国、欧州、他各国議会、国連人権関係各委員会からの日本への厳しい勧告を伝え続けています。

'64年の東京オリンピックは'43年の学徒出陣式と同じく明治神宮外苑で行われました。昨年9/2付朝日新聞「うたをよむ」欄は、「学徒出陣」の歌を紹介。「かかることありてはならぬうら若き母犯さるる子のいる前で」。

もはや国家主義を越え、過去と現在を巨視的にとらえる時代を迎えていると思います。(アムネ下関、山県)

## 東アジアの平和と福音的展望

韓国国民1%の済州島民と東アジアの平和実現を夢見ながら

カトリック韓国済州教区長



カン・ウイル司教

※文責／編集部

(1)

### 「セウォル号沈没事故から」

4月16日は韓国国民にとって忘れられない事件となりました。セウォル号という船が沈没し、乗客476人のうち294人が死亡、依然10人が行方不明で未解決の災難です。韓国の多くの人々は、4月16日を境に世の中が変わったという言い方をしている人たちがいます。それはどういうことかと言うと、国民皆が当然、常識として認識してことが根底からくつがえされる体験をしてしまったからです。

ソウルからチエジュ島に航海していた定期旅客船があまりにも理解しがたい様子で海の底に沈んでいくのを、皆テレビで見ながら、自力で逃げられた人以外は、誰一人助けられなかつたその事実がどうしても納得いかないのです。海洋警察の救助船とかヘリコプターが出動したにもかかわらず、自力で脱出した人を除いて当局は一人も救出できなかつたこと。海軍の艦艇や海軍特殊部隊も出動しましたが、警察との間に何があつたのか、互いの第一責任機関が、警察は自分たちが第一の責任機関だからということで、海軍のほうでは積極的に出られなかつたという言い訳がありました。確かに政府機関の間で協調介入がうまくいかなかつたということは確かです。

時間が経つにつれ、さらにいろいろな不可解な事実にさらされました。事故の要因はいろいろあるようですが、一つ一つが本来みな政府行政と関わりがあることがわかりました。まず最初にセウォル号はすでに18年も航海した後、2012年9

月に退役した日本の船を買い入れて、それも規定を無視して船室を増やしたり増築、改造をしました。そして2013年3月、仁川(インチョン)－チエジュ島路線に配属されるのですが、どうしてそういうことが許されたのか、その経緯も明らかではありません。国民にとってはなぞのような事実でした。

船の改造などを許可する政府の部署は、海洋水産部がありますが、定装置が非常にいい加減であつたこと。セウォル号沈没で明らかになつたことは、普段から船の積載可能な量と積載量を、確認やその検査責任を持つのが海洋水産部ですが、海洋水産部が直接責任を果たさないで公務員が全部できなからとその任務を委託された機関が韓国海運組合です。海運組合というのは、貨物や旅客船の会社などが会員です。それは一種の船会社の利益団体という性格を持ち、そういう利益団体に自分たちの船の航海、業界を検査させるという、本当に笑えないシステムをとつていてることが知らされ、行政は何を考えているのかと私たちは嘆いています。しかも海運組合の上層部が海運水産部であり、その引退した官僚たちが天下りで座れるます。しかも海運組合の上層部が海運水産部であり、その引退した官僚たちが天下りで座れるような船会社で船会社の所有者たちが官僚が座れるように協力する会社ですから、結局のところ行政と業者が一体となり互いの便宜を計り、助け合っていたことが露わになりました。

### 編 集 後 記

日本カトリック労働者運動(ACO)の機関誌が11月に100号を発行する予定で編集が進められています。その中に「100人の私の一言」があり、一人原爆・退職・憲法・高齢・障がい者・野宿・沖縄・介護・組合・放射能・人権…。それこそ一言で表すと「すごい」。そのすべてが“平和といのち”につながっています。特にACOの皆さんには、日本社会の中で、低みに生きる人々と共にずっと寄り添いながら、今も懸命に活動されています。どんなに高尚な言葉よりも実践こそが社会に正義をもたらし、その過程で歓びも分ち合っています。「働く人100号」に期待したい。(瀬下アキオ)